

# 豊川小学校(宇城市)海事産業見学会

～ 君たちが見たあの船は、沖縄 与那国の海へ ～

平成26年6月19日、宇城市立豊川小学校4年生児童34名と先生4名を連れ立ち、「船外機製作工場」、「倉庫会社(サイロ)」、「造船所」を見学しました。

まず、船外機製作会社の「ヤマハ熊本プロダクツ」では、陳列された大小様々な船外機が見学者一行をお出迎えし、担当者から「当社の製品は優れており世界中で売れている。今、ワールドカップサッカー開催地のブラジルでも活躍している。当社の技術スタッフは修理依頼があれば世界中を飛び回る。」と映像を交えた説明がありました。子供達からは、「エンジンはどのくらい使えるのか。」「なぜ、工場内では写真は禁止なの。」という子供らしからぬ質問も飛び出しました。

次に、倉庫会社の「パシフィックグレーンセンター」に見学先を移し、同構内から岸壁に伸びるベルトコンベアの先に長さ230m、8万トンの大型貨物船が接岸しておりアメリカからのトウモロコシを荷揚げしている最中、格好の光景を目の当たりにすることができました。また、構内にそびえる高さ40mのサイロの最上階までエレベーターで上がり、八代港の眺望に子供達はいろんな歓喜の声を飛び交わしていました。ここでも子供達から、「1年間に貨物船は何隻入港するの。」「どうやって船の中にブルドーザーを入れるか。」など細かな質問が担当者に投げかけられました。

造船会社の「熊本ドック」では、岸壁に係留されたひときわ白い船「フェリーよなくに」の前で、6月末には造船所から遠く沖縄県八重山郡与那国町に引渡され、その地の人や車を運ぶのに活躍すると説明があり、事務所棟では、そのフェリーの進水式の華やかな映像を見せて頂きました。ここでも子供達は、「造船で一番大変なところは何。」「社長はなんで造船の仕事に就いたの。」という大人びた質問に、「良い船を造るには、着手前に発注者や設計者や現場担当者との話し合いが最も大事。」「造船は、先々代から継がれてきた仕事で、造船所は遊び場だった。」など子供達と社長のやりとりが弾んで愉快的雰囲気になりました。

帰りのバス内で子供達に見学会全体の印象を尋ねたところ、「今日は八代の工場での勉強をたくさんして楽しかった。」「じいちゃんが船に乗っていたから自分も船に乗りたい。」などの感想が寄せられました。

今後とも、協議会では、関係各位のご協力を頂きながら、多くの子供達に海事産業の大事さ・大切さを伝えていきたいと考えております。

## 船外機工場：ヤマハ熊本プロダクツ



いろんな船外機がお出迎え



クルージング気分

## サイロ:パシフィックグレーンセンター



アメリカから1ヶ月かけて運んで来たんだよ



サイロには外国からの穀物がいっぱい詰まっているよ

## 造船所：熊本ドック



どんな船ができるの？



あの白い船は沖縄の海で活躍するフェリーだよ

# 先生を対象とした海事施設見学会

見学に来て、見て、実感することが大切だと思います。

(参加された先生のコメントより)

海事産業の振興には、優秀な人材の確保が欠かせないところであり、そのためには、海運、造船などの海事産業がいかに重要であるかを広く知ってもらうことが大切です。協議会では、まず先生にその重要性を認識してもらうため、平成26年8月27日、柳川市の小学校社会科部会の先生対象に見学会を開催しました。



## 行程

現地

RORO船見学

博多港内見学

倉庫見学

コンテナターミナル見学

現地

===== (昼食) =====



# 唐津工業高校（唐津市）職場体験

平成25年7月3～5日 唐津汽船株式会社 神集島～湊航路



出港前に機関室の安全点検



大量の貨物を短い停泊時間内に、搬入



出港時の係船ロープ外し



船橋で航海機器の説明を受ける

唐津汽船株式会社の乗組員のみ  
なさま、ご指導ありがとうございました。